

学校だより  
第57号



文責  
校長 都々木



青年団から、五島伝統の踊り「チャンココ」を学んでいます！

商店街を明るく彩りたいです！



椿油販売予約受付中！

ベトナム産「フォー」と地元五島うどん店のコラボによる商品開発・販売しました！



こんな体験しました！

「キャリア教育」という言葉は、保護者の皆様には耳慣れない言葉だと思えます。私の理解では、「置かれた場所で咲く（どんな職に就いても働き甲斐を持てる）」力、「自分が選んだ道を正解にする」力をつけることだと考えています。その一環としてU・T（ユースフル・タイム）で様々な体験学習を実践しています。

「キャリア教育」(3年)

前号「2と1は等しい」の証明のウツ

- ① a = b とする  
両辺に a を足す  
 $2a = a + b$   
両辺から 2b を引く  
 $2a - 2b = a - b$   
 $2(a - b) = (a - b)$   
両辺を (a - b) で割る  
 $2 = 1$
- ②  $3 \div 2 = 1$  あまり 1  
 $5 \div 4 = 1$  あまり 1  
答えが同じなので、  
 $3 \div 2 = 5 \div 4$   
両辺に 4 をかける  
 $3 \times 2 = 5$   
 $6 = 5$   
両辺から 4 を引く  
 $2 = 1$

- ① a = b ならば、 $a - b = 0$   
どんな数も「0」で割ることはできないので、この証明は大ウソ。
- ②  $3 \div 2$  のあまりの 1 は、 $1/2$ 。  
 $5 \div 4$  のあまりの 1 は、 $1/4$ 。  
だから「答えが同じ」ではない。  
よって、  
 $3 \div 2 = 5 \div 4$  は間違いで、この証明は大ウソ。

「なぜだろう？」という疑問や「こうじゃないかな？」という推測は、私たちの脳を大いに活性化させます。



「おもしろい」シリーズ第三弾。  
次の長島茂雄語録で笑えますか？

英語でつむもつる

- 「魚へんにフルーと書いて「鱈」
- （好きな番号を聞かれて）  
「Lucky seven G m...」
- 「How old are you?」  
肉離れのことを「meat good bye」
- 「I live in Tokyo. の過去形を、  
「I live in Edo.」
- フライドチキンを注文したくて、  
「I am chicken.」
- タクシーを呼びたくて、  
「Please call me taxi.」

（雑感）小惑星リュウグウの探査を終えた「はやぶさ2」は、残った燃料で新たな小惑星の探査に向かうという記事を読んだ。十年かかるという試料を持ち帰るのに更に十年かかるのだとすれば、二十年というスパンで物事を考え、仕事をしている人たちが驚かされる▼日々の出来事に対処することに精一杯な我が身を省みれば、何と狭量なことかと恥じ入るばかりである▼よく考えれば、教師という仕事も、子育てと同じではないか！十年、二十年後の結果を信じて語り、叱り、褒め、教えているのだ▼子どもたちはどうだろう？十年先、二十年先を考えることは、「夢を持つ」ということだ。夢があれば夢に近づく楽しさを味わえる。苦しさにも耐えられる。夢はジャンルを問わないが、大抵は職業だろう▼そう考えると、「夢」＝「働く」＝「生きる」という等式が成り立つ。ドラマ「ハケン」の品格でも、主人公の大前春子が叫んでいた。「働くとは生きることだ！」

保護者に伝えたい「いい言葉」

今回は「子ども」ではなく保護者の皆様に。

助手席で進路希望を話す時  
母は静かにラジカを消した  
東京学館新潟高校三年 篠田 朱里

子どもたちは、夢を抱きながらも、不安や悩みを抱え、進路選択をしていきます。大人がしっかりと寄り添い、進むべきレールを示したり、逆にレールをはずしたりすることで、子どもたちは自らの意志を固めていくでしょう。

